

2013年度 第2四半期 不二サッシグループ 決算説明資料

2013年11月7日
不二サッシ株式会社

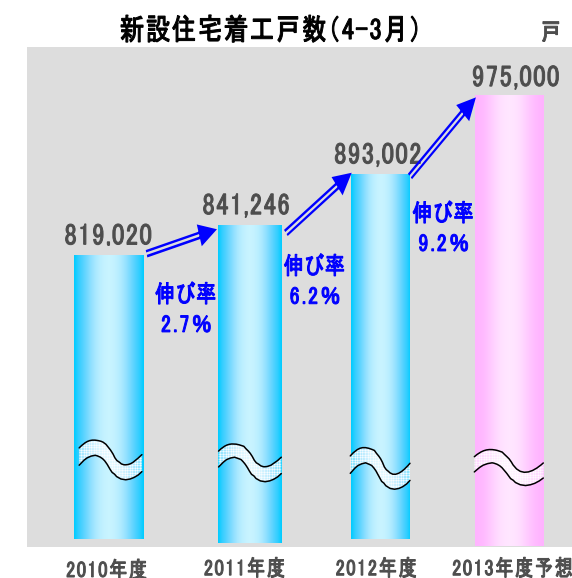
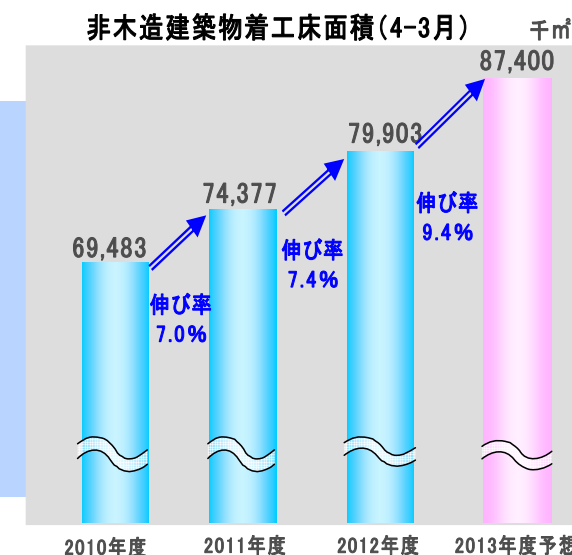
本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

I. 2013年度 第2四半期決算の概要

2013年度における事業環境

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 予測
非木造建築物着工床面積（千㎡）	69,483	74,377	79,903	87,400
前年比（伸び率）	7.9%	7.0%	7.4%	9.4%
新設住宅着工戸数（戸）	819,020	841,246	893,002	975,000
前年比（伸び率）	5.6%	2.7%	6.2%	9.2%

- 建設投資の先行指標である建築着工床面積は、事務所・店舗・工場・倉庫等が前年度比で順調に伸びていることなどから、2013年度も回復基調が続くと見込まれます。
- 2013年度の住宅着工戸数は、消費税増税前の駆け込み需要が顕在化しており、復興需要による下支えもあることから、引き続き回復基調が継続すると見込まれます。
- 全体的に事業環境を展望すると、金融緩和等の政策的支援から企業の設備投資の活性化が期待されるとともに、復興需要の下支え、住宅関連優遇税制の延長拡充、消費税増税による駆け込み需要など一時的な需要は見込まれるものの、労務費・資材費の上昇や増税後の反動減など下振れ要因も懸念されます。



2013年度 第2四半期決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2012年度上期		2013年度上期			
	実 績		実 績		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	38,101	100.0	41,397	100.0	3,296	108.7
売上原価	32,394	85.0	35,235	85.1	2,841	108.8
売上総利益	5,707	15.0	6,162	14.9	455	108.0
販管費	5,138	13.5	5,473	13.2	335	106.5
営業利益	568	1.5	688	1.7	119	121.1
経常利益	291	0.8	468	1.1	177	160.9
当期純利益	143	0.4	181	0.4	37	126.3

当第2四半期の当社グループの業績は、市場環境が回復基調を継続する中、住宅建材事業やビル建材事業、一般形材事業が堅調に推移し、アルミ加工品事業の落ち込みを補い、売上高は前年同期比108.7%の増収となりました。

利益面は、売上高増加の効果に加え、中期経営3ヵ年計画の収益改善施策に注力した結果、営業利益は前年同期比121.1%、経常利益は前年同期比160.9%、当期純利益は前年同期比126.3%となり、増益となりました。

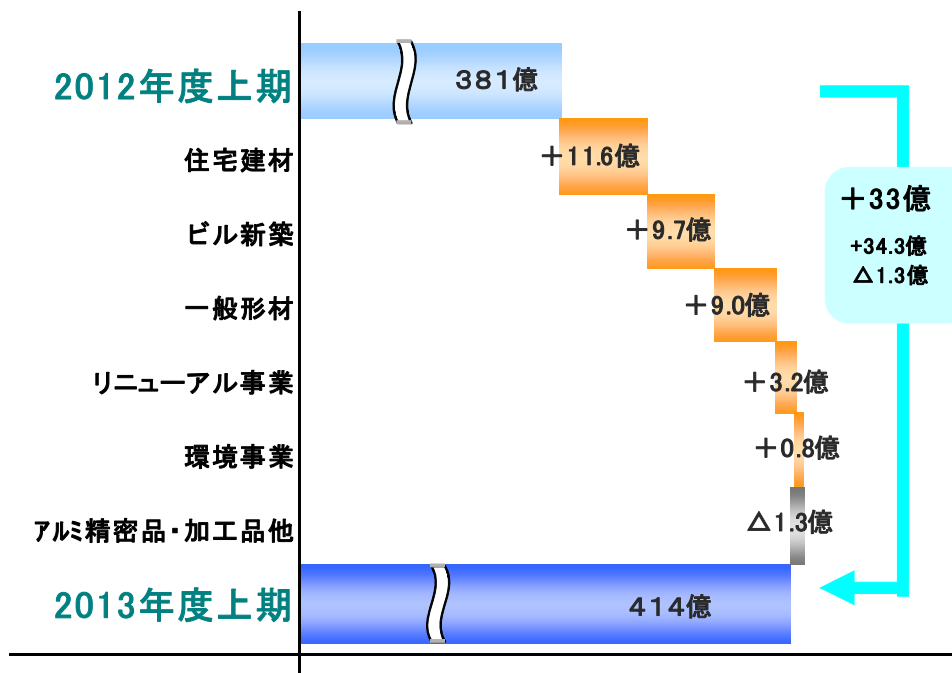
セグメント別 売上高

【連結】

(百万円)

	売上高		
	2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	対前年比
建 材 事 業	26,710	29,154	109.2% 2,443
形材外販事業	9,312	10,099	108.4% 786
環 境 事 業	1,398	1,481	106.0% 83
その他事業	679	662	97.5% △17
合 計	38,101	41,397	108.7% 3,296

■ 売上高増減分析(前年比)



- ・主力の建材事業の売上高は、建築市場の回復傾向が継続する中、消費税増税前需要などを踏まえ、積極的な営業展開を図った結果、住宅建材事業・ビル新築事業・リニューアル事業が順調に増加し、前年同期比109.2%、24億4千3百万円の増収となりました。
- ・形材外販事業の売上高は、一般形材が堅調に推移し、アルミ加工品事業の落ち込みを補い、前年同期比108.4%、7億8千6百万円の増収となりました。
- ・環境事業の売上高は、焼却飛灰処理設備プラント・リサイクルプラントの受注増加に加え、薬剤販売やメンテナンス工事の取り込みに注力した結果、前年同期比106.0%、8千3百万円の増収となりました。

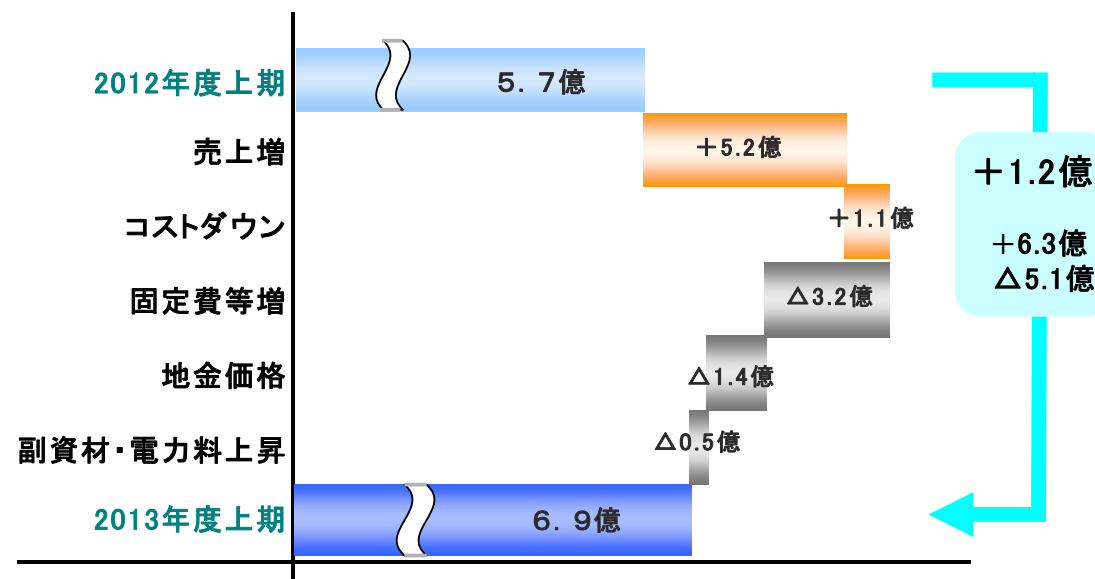
セグメント別 営業利益

【連結】

(百万円)

	営 業 利 益		
	2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	対前年比
建 材 事 業	695	865	124.5% 170
形材外販事業	419	347	82.8% △72
環 境 事 業	74	49	66.4% △24
その他事業	67	65	96.0% △2
(消去又は全社)	(688)	(639)	49
合 計	568	688	121.1% 119

■ 営業利益増減分析(前年比)



- ・営業利益は、増加要因として売上増加による効果で+5.2億円、収益改善施策によるコストダウンで+1.1億円となり、合計で6億3千万円の増加となりました。
- ・減少要因としては、商品開発費等の固定費増でΔ3億2千万円、円安の影響による地金価格上昇でΔ1億4千万円、副資材価格・電力料金等の上昇でΔ5千万円となり、合計で5億1千万円の減益になりました。
- ・営業利益全体では、前年同期比121.1%、1億1千9百万円増の6億8千8百万円と増益になりました。

II. 2013年度(平成26年3月期)の業績予想

2013年度 連結通期業績予想について

【連結】

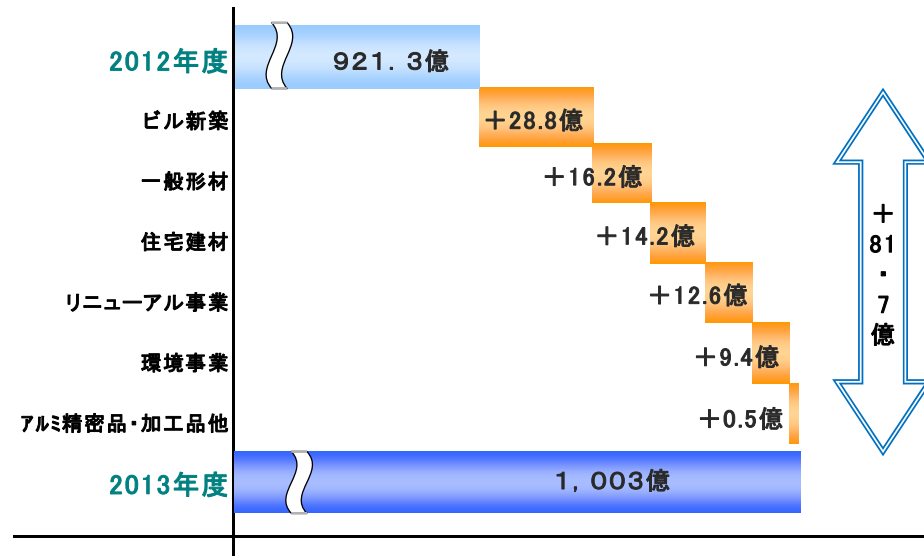
(百万円)

	2012年度通期		2013年度通期			
	実 績	売上比	公表・予想数字	売上比	前年同期比	
					増減額	%
売 上 高	92,126	100.0	100,300	100.0	8,174	108.9
営業利益	2,740	3.0	3,100	3.1	360	113.1
経常利益	2,342	2.5	2,600	2.6	258	111.0
当期純利益	3,119	3.4	2,100	2.1	△1,019	67.3

2013年度 連結通期業績予想 - 売上高

	売上高 (百万円)		
	2012年度 通期実績	2013年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	68,136	73,700	108.2% 5,564
形材外販事業	19,369	21,000	108.4% 1,631
環 境 事 業	3,255	4,200	129.0% 945
その他事業	1,365	1,400	102.6% 35
合 計	92,126	100,300	108.9% 8,174

■ 売上高予想増減分析(前年比)

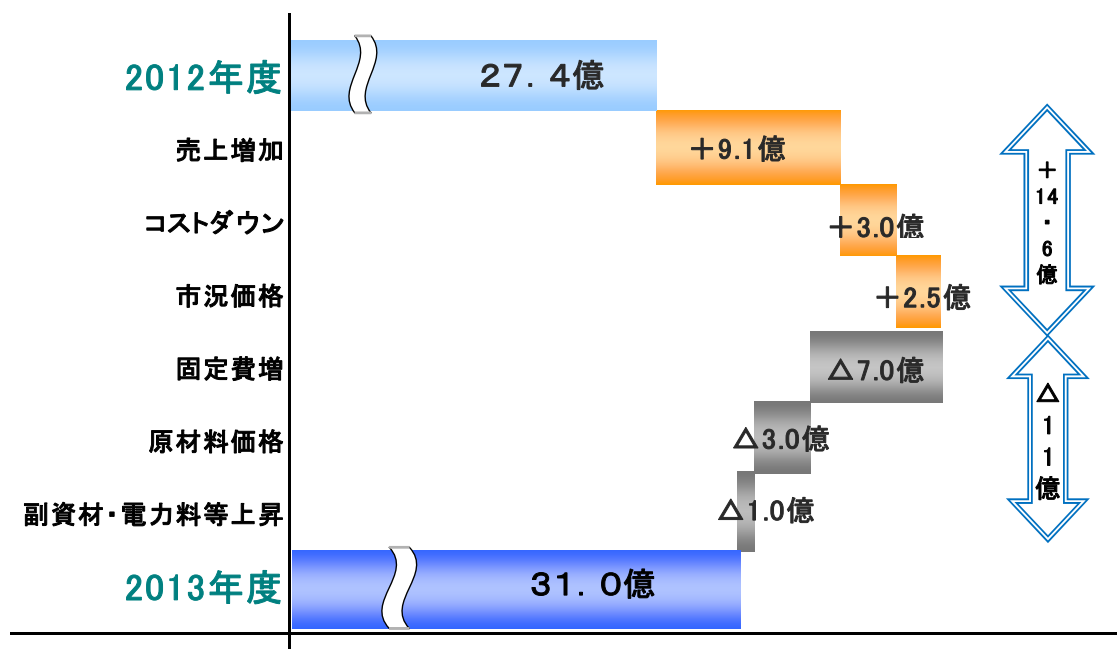


- ・建材事業は、リニューアル事業の強化およびビルサッシ事業の受注が堅調に推移していることなどから前年同期比108.2%、55億6千万円の増収を見込んでいます。
- ・形材外販事業は、アルミ加工品市場の低迷が続いていますが、堅調な一般形材事業が補い前年同期比108.4%、16億3千万円の増収を見込んでいます。
- ・環境事業は全国のごみ処理施設の約半数が更新の時期にきており、受注活動を強化しています。前年同期比129.0%、9億5千万円の増収を見込んでいます。

2013年度 連結通期業績予想 – 営業利益

【連結】	営業利益 (百万円)		
	2012年度 通期実績	2013年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	2,736	3,050	111.5% 314
形材外販事業	914	940	102.8% 26
環 境 事 業	275	400	145.5% 125
その他事業	147	180	122.4% 33
(消去又は全社)	(1,333)	(1,470)	(137)
合 計	2,740	3,100	113.1% 360

■ 営業利益予想増減分析(前年比)



営業利益は、引き続き利益確保の営業活動に注力することや中期経営3ヵ年計画の収益改善施策の効果が、固定費や原材料価格、電力料金等の上昇によるコスト増を補い、前年同期比113.1%、3億6千万円増の31億円を見込んでいます。

III. 中期経営3ヵ年計画 (2011年度～2013年度)



中期経営3カ年計画の進捗状況

【連結】

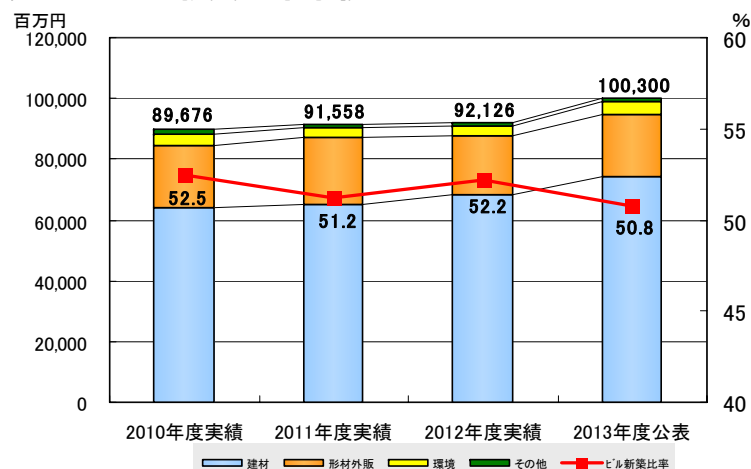
(百万円)

	2010年度	2011年度		2012年度		2013年度		
	実績	中期計画	実績	中期計画	実績	第2Q実績	中期計画	公表
売上高	89,676	94,900	91,558	97,550	92,126	41,397	100,300	100,300
ビル新築比率	52.5%	52.6%	51.2%	50.5%	52.2%	46.4%	47.5%	50.8%
営業利益	1,116	1,580	2,048	2,190	2,740	688	3,120	3,100
営業利益率	1.2%	1.7%	2.2%	2.2%	3.0%	1.7%	3.1%	3.1%
経常利益	640	1,050	1,627	1,660	2,342	468	2,590	2,600
当期利益	570	730	1,298	1,310	3,119	181	2,240	2,100
純資産	5,422	6,150	6,920	7,460	10,447	10,720	9,700	11,000
有利子負債残高	30,266	28,400	28,334	27,200	26,334	24,679	26,000	25,000

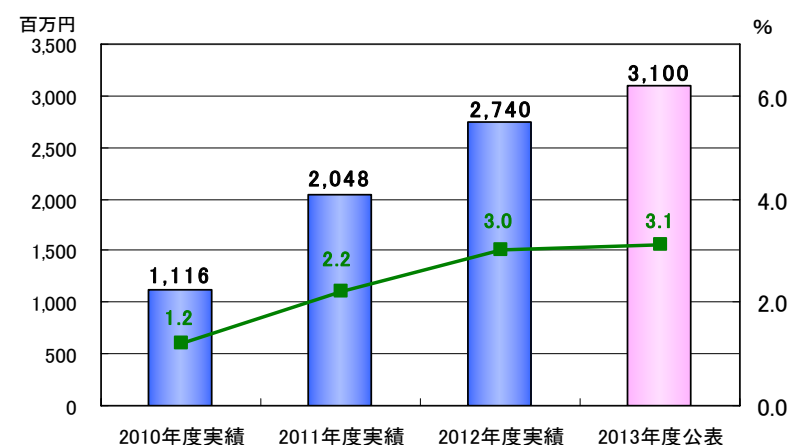
数値目標(最終年度)

売上高	1,000億円
ビル新築比率	2010年度比 5ポイントダウン
営業利益率	3.0%以上
純資産	97億円以上
有利子負債残高	260億円以下

■ 売上高・ビル新築比率推移



■ 営業利益・営業利益率推移



IV. 2013年度 第2四半期 トピックス



新マグネシウム合金量産化技術について 国際マグネシウム協会で優秀賞を受賞

2013年5月21日

不二ライトメタル株式会社を含む国内外 8 社が共同で取り組んだ新マグネシウム合金LZ91の量産化技術で中国西安にて開催されたInternational Magnesium Association (国際マグネシウム協会) の年次総会で DesignWrought 部門の最高賞である Award of Excellence (優秀賞) を受賞しました。新マグネシウム合金LZ91が、NECの13インチサイズ世界最軽量 Ultrabook ノート・パソコン「NEC Lavie Z」に採用された量産化技術と実績が評価されたもので、今後幅広い分野での量産化技術の活用が期待されます。当社グループは主に押出成形技術でこの取り組みに貢献しました。



受賞風景（中国西安）

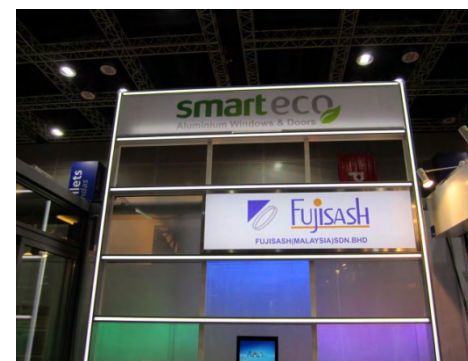


第14回マレーシア 国際建築建材展に参加

2013年6月19日～22日

クアラルンプール国際コンベンションセンターにて開催された建築建材展

(ARCHIDEX2013) に不二サッシマレーシア社とSKBシャッター社が共同で出展。今年はSKB社と不二サッシマレーシア社の共同コンセプトブランドSMARTECOとして『FNS70サッシ』・多機能LEDモジュール『アルビーム』・LEDデスクライト『アルエア』を展示。さらに遮音・遮熱体験コーナーを設置して住環境におけるサッシの重要性を来場者にアピールしました。



アルビームSMARTECO展示



展示会風景

第76回 東京インターナショナル ギフト・ショー 秋2013 に出展

2013年6月19日～22日



東京ビックサイトで開催された、「インターナショナル・ギフト・ショー2013」に初出展しました。当社が独自開発した面発光体LEDプレートを組み込んだデスクライト「アルエア」を中心にアルミとLEDの特長を活かしたLED商品を展示しました。



アルエア他出品商品

京橋環境ステーションに 不二サッシグループが出展

2013年7月16日

環境配慮型大規模複合ビル「東京スクエアガーデン」内に7月16日にオープンした「京橋環境ステーション・エコテクカン」に当社グループが出展。「京橋環境ステーション」は、省CO2技術などの環境技術の発信と周辺地域のCO2削減に取り組み、東京の都市環境の向上を目指して開設されました。当社もこの取組みに賛同し、省CO2に貢献する製品を展示しています。



東京スクエアガーデン



壁面緑化とLED導光板



ガレリアとアルビームシステム

全世界が注目する KUMADAIマグネシウム合金が 「ねじ」に採用されます

2013年9月24日リリース



不二ライトメタル株式会社は、KUMADAI耐熱マグネシウム合金の「ねじ」素材を開発し、来春より供給を開始します。本素材はマグネシウム合金分野にブレークスルーをもたらすものとして世界的に注目されています。

超軽量であることはもちろん、常識を覆すような高強度・高耐熱性を有し、室温強度と高温強度で世界記録を樹立しています。既存のマグネシウム合金はもとより、航空機にも使用されている超々ジュラルミンの呼称で知られる高強度アルミニウム合金を凌駕する機械的特性を有しています。

利用分野としては、航空宇宙、鉄道車両、自動車など高強度、高耐熱、超軽量を求められている分野での利用が見込まれています。

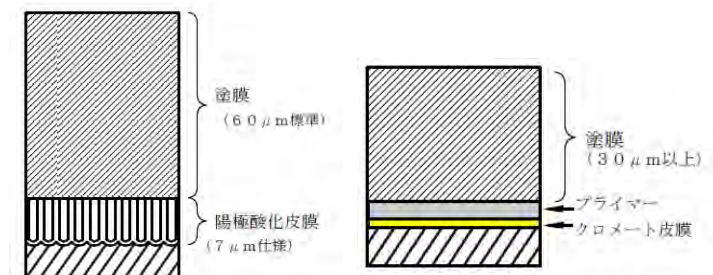


KUMADAIマグネシウム合金製ねじ

環境対応型ふっ素樹脂粉体塗装 アルミニウム建材の生産ラインが完成

2013年9月26日リリース

環境対応型ふっ素樹脂粉体塗装アルミニウム建材の生産ラインをマレーシア現地法人である、不二サッシマレーシア社にて完成し、塗装から商品完成までの一貫生産を可能にしました。環境対応型ふっ素樹脂粉体塗装アルミニウム建材とは、従来、素地調整に使われていた有害物質であるクロム等を含まない陽極酸化皮膜を使用し、さらに、溶剤を含まない（脱VOC※）環境対応した粉体塗装を行ったアルミニウム建材です。ふっ素樹脂粉体塗装の高い耐候性と耐久性の両方を兼ね備えた、溶剤を含まない環境対応型ふっ素樹脂粉体塗装アルミニウム建材は、環境に優しいアルミニウム建材でライフサイクルコストの低減に貢献します。



アルエアタイプⅡコンポジットモデル 2013年度グッドデザイン賞受賞

2013年10月9日リリース

「アルエア タイプⅡ コンポジットモデル」は「2013年度グッドデザイン賞」（Gマーク）を受賞しました。グッドデザイン賞では特に、「アームの繊細なディティールの美しさ」、「紙のような繊細で軽快な存在感」、「どの角度から見ても美しい品のある光沢感」などが高く評価されました。

当社では今回の受賞を機に、「アルエア タイプⅡ コンポジットモデル」をはじめ「アルエアシリーズ」のいっそうの拡販を目指すとともに、デザインを重視した商品開発を推進することで、市場におけるブランドイメージの向上に努めてまいります。



アルエアタイプⅡコンポジットモデル

文化シャッター・不二サッシ コラボ商品 ゲリラ豪雨から店舗を守る止水・耐水フロント 「Fフロント(水防タイプ)」を新発売

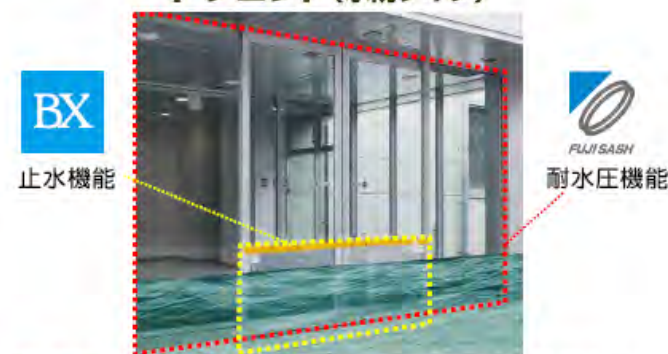
2013年11月1日リリース

文化シャッター株式会社と不二サッシ株式会社が共同で開発した止水機能付きアルミフロント「Fフロント(水防タイプ)」を11月1日より発売します。本商品は、両社が進めてきた協業開発商品で、文化シャッターの止水シートと不二サッシの水防用自動ドアをセットにした商品です。ゲリラ豪雨などで道路が冠水し、建物への浸水の恐れがある場合、簡単に止水対策ができる止水機能付きアルミフロントです。

止水機能と耐水圧機能

BX Fフロント
(水防タイプ)

Fフロント(水防タイプ)



業界初の止水と耐水圧機能を兼ね備えたフロント

遠くから来たお友達
不二サッシ